

R4年度 事業名	ライブラーカフェ
R3年度 事業名	ライブラーカフェ

総合戦略 体系	244	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	新たな学びへの扉を開くことを通じて、市民の教養が高まることに資する。				
	概要	文化の館喫茶室という気軽な雰囲気の中で、様々な分野で活動している人の話を聞き、参加者も含めた語らいの場を提供する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 行事開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の変更や、行事参加者人数を絞る。 (R3年度) 行事開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の変更や、行事参加者人数を絞る。 (R4年度) 行事開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の変更や、行事参加者人数を絞る。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	開催回数(ライブラーカフェコンサート含む)	回	目標値	12	6	14	10	-
			実績値	12	4	10		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	年間参加人数(ライブラーカフェコンサート含む)	人	目標値	700	220	500	385	-
			実績値	673	151	346		
計算 根拠	年間参加人数		達成率	96.1	68.6	69.2		
			実績値					
			ランク	A	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、行事が中止となり開催回数が減少したため。							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	104	114	112	82	82		事業タイ	単独事業
	決算額	92	71	15	38			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	10	5	10	201	図書館管理運営費	85,556	82	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	82

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	0.2
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input checked="" type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <b>維持</b>
取組内容	市民から知的好奇心を得る場として好評を得ているので、鯖江図書館友の会と協働で新型コロナ感染拡大防止のための対策を行いながら実施する。
来年度へ向けて	R3年度実績 R3年度は9回 267名の参加があった。コンサートは1回開催し79名の参加があった。新型コロナのための行事自粛により、予定通り開催できない状況もあった。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 新型コロナ対策のためR3年度も密にならないよう会場を喫茶室から1階ロビーに変更して開催を計画したが、県の特別警報等に伴う行事自粛方針により開催中止の回もあった。また、今後も感染拡大防止のため、多目的ホールでのコンサート開催についても中止もしくは参加者数を絞っての開催を考えなくてはならない。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 毎月開催から、講演会を年1~2回開催に変更
R5方向性⇒	<b>事務改善(手段・サービス水準の見直し)</b>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	映像シアター開催事業			
R3年度 事業名	映像シアター開催事業			
総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	1995	終了年度	9999
	目的	映像芸術、視聴覚教材に親しんでもらうことを通じて、市民へ娯楽を提供するとともに、文化的教養の向上に資する。				
	概要	毎月1回、名画等の鑑賞会を開催するとともに、子ども向け「こどもシアター」を夏休み・春休み期間などに年2・3回開催する。また、映像制作活動を行っている市民グループの作品を合わせて上映する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 新型コロナ感染拡大防止のため、4～7月は中止、8月以降はホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施した。 (R3年度) 新型コロナ感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施する。その中で、鑑賞者のニーズを把握して満足度を高めるとともに、この事業は広報、ホームページ、館内ポスターにて周知しているが、更に他の施設にポスターを張りPRし参加者の拡大に努める。 (R4年度) 新型コロナ感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施する。その中で、鑑賞者のニーズを把握して満足度を高めるとともに、コロナ感染拡大防止のための行事中止には振替日程を設定するなどの対応を検討する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	上映回数		回	目標値	14	7	14	14	14
				実績値	13	8	14		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	年間入場者数		人	目標値	1,100	340	780	780	780
				実績値	1,130	253	785		
	計算 根拠	年間入場者数	達成率	102.7	74.4	100.6			
			実数値						
		ランク	A	C	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	65	65	66	66	66		事業タイプ	単独事業
	決算額	65	65	66	66	66		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	12	202	視聴覚教材充実費	319	66	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	66

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	0.18
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施する。所蔵する映像を利用し、子どもから高齢者までが、映像を楽しみ親しむことができる場を提供する。また、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いたら、映像制作活動を行っている、市民グループの作品を最初に上映することを再開し、郷土の行事等を映像で残す活動を支援する。	取組内容 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施する。所蔵する映像を利用し、子どもから高齢者までが、映像を楽しみ親しむことができる場を提供する。また、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いたら、映像制作活動を行っている、市民グループの作品を最初に上映することを再開し、郷土の行事等を映像で残す活動を支援する。
来年度へ向けて R3年度の実績 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施した。開催中止の月もあったが、年間入場者数は成果指標を達成することができた。	来年度へ向けて R3年度の実績 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施した。開催中止の月もあったが、年間入場者数は成果指標を達成することができた。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多目的ホールの定員の1/2をまでを参加者の上限とし開催する。R3年度も参加者数に上限を設け、事前申込制とした。受付後の緊急事態宣言による行事中止の際は、申込時に聞取りした連絡先に電話して対応している。8月こどもシアターは9月23日に振り替えて実施することとし、半数が振替日に参加を希望した。	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多目的ホールの定員の1/2をまでを参加者の上限とし開催する。R3年度も参加者数に上限を設け、事前申込制とした。受付後の緊急事態宣言による行事中止の際は、申込時に聞取りした連絡先に電話して対応している。8月こどもシアターは9月23日に振り替えて実施することとし、半数が振替日に参加を希望した。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施する。(注意報以下の期間は1/2の制限解除)。その中、鑑賞者のニーズを把握して満足度を高めるとともに、この事業は広報、ホームページ、館内チラシにて周知をしているが、更に他の施設にポスターを張りPRし参加者の拡大に努める。また、平日にコミバスの運行時間に合わせた上映会を企画し利用者増を図る。	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施する。(注意報以下の期間は1/2の制限解除)。その中、鑑賞者のニーズを把握して満足度を高めるとともに、この事業は広報、ホームページ、館内チラシにて周知をしているが、更に他の施設にポスターを張りPRし参加者の拡大に努める。また、平日にコミバスの運行時間に合わせた上映会を企画し利用者増を図る。
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	図書充実事業
R3年度 事業名	図書充実事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	蔵書を充実することにより、図書館サービスの向上を図る。				
	概要	市民のニーズに沿った質の高い蔵書をめざして、図書資料等の選書、収集、整理、保存を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容		

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
蔵書数		冊	目標値	363,000	365,000	380,000	385,000	387,000
			実績値	373,139	377,311	385,457		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
インターネット予約数		件	目標値	8,300	8,300	10,000	12,000	12,000
			実績値	10,058	11,529	11,149		
計算 根拠	予約件数:市民の求める資料をそろえる。		達成率	121.2	138.9	111.5		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	14,445	14,545	14,545	14,545	14,545		事業タイプ	単独事業
	決算額	14,430	14,545	14,545	14,503			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	202	図書購入費	16,831	14,545	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	14,545

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	4
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市民が求める資料、情報に正確かつ迅速に応えるため、図書および資料等の選書の質を高め、蔵書の充実を図りながら、昨年度同様の形態で実施する。図書充実に合わせて、雑誌の充実を図るため、雑誌スポンサー制度および雑誌サポーター制度を開始した。(R4年4月発分から)
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度は新型コロナ禍から利用回復の兆しもあったが、県緊急事態宣言発令による開館時間短縮、滞在時間制限、閲覧機使用不可期間があり、利用が減少している。図書館は原則声を出す施設ではないので、県内の図書館においては利用時間の制限をかけていないところが多いことから制限の方法は課題である。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 図書資料の予約制度の広報、および資料提供の円滑化を図り、住民ニーズを意識した図書を揃えていくことで、予約数の増加を見込む。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	こどもの読書活動支援(学校図書館支援センター)事業			
R3年度 事業名	こどもの読書活動支援(学校図書館支援センター)事業			
総合戦略 体系	323	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校図書館の充実

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	未来を担う子どもたちの心を培うため、乳幼児から児童生徒までの読書活動を支援し、情操を豊かにするとともに考える力の向上に寄与する。				
	概要	0歳児から対象年齢別にこどもの読書支援イベントを実施し、本に親しむ環境づくりを図る。「学校図書館支援センター」を核として、学校、家庭、地域と連携協働を進め、ボランティアの育成に努める。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)新型コロナウイルス感染拡大防止のためこども対象行事を7月まで中止、密を避けるため、こどものつどいスペシャル開催せず。 (R3年度)新型コロナ感染拡大防止のため、多目的ホールの定員を1/2としているので、こどものつどいスペシャルをホール会場にする場合は参加者に上限を設けて開催する。 (R4年度)新型コロナ感染拡大防止のため、多目的ホールの定員を1/2としているので、こどものつどいスペシャルをホール会場にする場合は参加者に上限を設けて開催する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	こどもの読書支援イベント年間開催回数(館内イベントのみ対象)	回	目標値	100	50	100	90	90	
			実績値	91	54	64			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	こどもの読書支援イベント年間参加者数(館内イベントのみ対象)	人	目標値	1,700	780	1,420	1,300	1,300	
			実績値	1,785	896	1,028			
	計算 根拠	事業への参加者累計	達成率	105.0	114.8	72.4			
			実数値						
		ランク	A	A	C				
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため子ども向け行事中止の期間があったため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,238	2,238	2,246	2,021	2,050		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,168	2,170	2,066	1,947			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	203	こどもの読書支援事業費	2,450	2,050	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,050

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	本との素敵な出会い参加料	53
2		
3		
4		
5以降		
合計		53

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	3.5
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	こどもの読書支援事業は、市民への公的サービスであり、豊かな子どもの心を培うものとして重要な事業であるため、昨年度同様の形態で実施する。本との素敵な出会い事業については、バス利用参加園児一人当たり100円を徴収し、歳入とする。子ども読書活動推進会議事務を行う。
来年度へ向けて	R3年度実績 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度実績 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	読書手帳普及事業			
R3年度 事業名	読書手帳普及事業			
総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	読書手帳の発行・普及により、図書館から借りた本の履歴(読書歴)の管理を利用者自らが行うことが可能となり、「一度読んだ本を再度借りてしまうことが避けられる」「以前読んだ本を再度借りたいときなどにスムーズに手続きできる」など利用者の利便性が向上する。また、読んだ本の履歴が目に見えて増えていくことや、読んだ本の簡単な感想を書き込むことなどで、読書の楽しさが増し、読書活動推進へとつなげることができる。				
	概要	文化の館において、読書手帳を発行し、図書館利用者が読書履歴を自分で管理することが可能にする。記念手帳に、シールラベルを貼る形式にする。 H26.10.27～発行開始				
	コロナ対応の取組	(R2年度) R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館(入館不可)により、シール印刷機を利用できない期間があった。また、9月から工事による休館も控えており、シール印刷機を利用できない期間があるため、利用減は避けられない。 (R3年度) 広報さばえ、ホームページ等で更なるPRを行う。また、読書週間に合わせ再度キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図る。 (R4年度) 広報さばえ、ホームページ等で更なるPRを行う。また、読書週間に合わせ再度キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図る。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	読書手帳の配布冊数(累計) ※～2021年度	冊	目標値		2,800	3,200	3,500		
			実績値		3,062	3,280	3,518		
	読書手帳のPR ※2022年度～	回	目標値					3	3
			実績値						
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	シールタイプロール紙の使用量 ※～2021年度	巻	目標値		20	13	20		
			実績値		16	11	16		
	計算 根拠	ロール紙の使用量で、貸出履歴の出力冊数の把握ができる。(ロール紙は1巻につき2300冊分の貸出履歴が印字可能。)	達成率		80	85	80		
			実数値						
	読書手帳の配布冊数(新規) ※2022年度～	冊	目標値					800	800
			実績値						
	計算 根拠		達成率						
実数値									
			ランク	B	B	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナによる時間制限等により貸出利用自体が予想を下回ったため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	59	59	29	29	29		事業タイプ	単独事業
	決算額	59	55	6	29			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	10	5	10	201	図書館管理運営費	85,556	29	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	29

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	雑入	20
2		
3		
4		
5以降		
合計		20

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	0.17
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	利用者自らが読書履歴を楽しみながら管理できるため、読書活動推進のひとつとして、昨年度同様の形態で実施するとともに、使い方を具体的に示しPRを行う。 本との素敵な出会い事業参加者に読書手帳(ページ数を少なくした特製手帳)をプレゼントし、利用促進に努める。
来年度へ向けて	R3年度実績 新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間制限等でシール印刷機を利用ができない期間があり、利用減となった。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度は「本との素敵な出会い事業」で読書手帳のPRを掲載した特製の読書手帳を配布し、保護者への周知に努めた。後日親子で来館してシール印刷利用の手続をする姿が見られた。 R4年度も「本との素敵な出会い事業」で読書手帳のPRを掲載した特製の読書手帳を配布し、保護者への周知に努めている。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 広報さばえ、ホームページ等で更なるPRを行う。また、読書週間に合わせ再度キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図る。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	「えきライブラリー」運営事業
R3年度 事業名	「えきライブラリー」運営事業

総合戦略 体系	244	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	JR鯖江駅利用者の利便性向上による乗降客の増加策および駅前活性化施策の一環として、鯖江市が長期間空きスペースとなっていたJR鯖江駅2階を整備・貸借し、このスペースを活用した市民協働による事業を展開する。				
	概要	鯖江市がJR鯖江駅2階スペースを整備活用する市民協働による事業において、図書の貸出を行うための図書購入や情報検索・発信のためパソコンを配置する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)緊急事態宣言発令により、えきライブラリー4/7~6/14休業、再開後も時短営業となっており、貸出ができない期間が多かった。事業者からの要望で、配本回数も減らした。 (R3年度)R3年4月より定休日が週2日になった。えきライブラリーの利用者に対しニーズ調査を実施し、配本内容を見直す。 (R4年度)えきライブラリーへの配本内容を見直し、えきライブラリーの利用者には喜ばれる蔵書構成とする。また、短くなった利用時間でも来訪できる人へのアプローチをする。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	図書の選書・団体貸出:市直営 運営:民間委託等		
現在	その他					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	「えきライブラリー」への配本冊数		冊	目標値	1,200	920	1,200	1,200	1,200
				実績値	1,160	880	1,150		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	返却冊数		冊	目標値	1,000	500	700	500	500
				実績値	973	476	505		
	計算 根拠	「えきライブラリー」への本の返却冊数		達成率	97.3	95.2	72.1		
				実数値					
			ランク	A	A	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	R3年度から日曜日定休になり、返却ポストを利用できる日数が大幅に減ったため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	55	55	55	57	55		事業タイプ	単独事業
	決算額	49	55	55	57			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	202	図書購入費	16,831	55	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	55

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.13
	会計年度職員	0.26
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 運営事業者の都合により返却ポストの利用可能時間は、通勤通学時間帯とは重ならないため利用しにくい面もあるが、JR鯖江駅前のにぎわい創出と、JR利用客や周辺住民の利便性を図るため、昨年度同様の形態で実施する。

来年度へ向けて R3年度実績 R3年度はJR駅の利用者数の減少をうけて、えきライブラリーtetoteの定休日が2日に増えた。図書館側の都合で運営日数・時間を延ばすことは困難である。3ヶ月毎に職員が図書館から本を持参し、tetoteの書棚の中の本と入替し、書棚の中身の更新を図っている。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題  
図書館の貸出冊数が減少したため、返却対象の本も減少した。えきライブラリーtetoteはR3年4月から日曜日定休を始めたため、利用日数が縮小された。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点  
えきライブラリーへの配本内容を見直し、えきライブラリーに特化した蔵書構成とするなど、短くなった利用時間でも来訪できる人へのアプローチをする。また、利用者の傾向を見極めそのニーズに合った配本となるよう努める。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	図書館情報オープンデータ化事業			
R3年度 事業名	図書館情報オープンデータ化事業			
総合戦略 体系	452	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	データの利活用

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	図書館マップ「配架図」をオープンデータ化することにより、図書館内外から自分の探している本がどの書棚にあるかを知ることができる。iphoneの位置情報とあわせることで本探しが容易になるなど利用者の利便性が向上させる。平成28年1月～さばとマップ稼働。				
	概要	図書館書架にiBeaconを設置し、書架の位置情報を取得する。書架に並んだ本の分類番号と結びつけたデータを作成・公開する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 県をまたいでの移動に制限がかかり、来館しての打合せが困難となったため、メールやり取りだけで連絡をしていた。 (R3年度) 来館しての打合せが無理な場合、メールやり取りだけで連絡をしていたが、200m接続のテレビ会議等での打合せを設定する。その中で、改善箇所を依頼し利便性を高める。 (R4年度) 来館しての打合せが無理な場合、メールやり取り以外に、200m接続のテレビ会議等での打合せを設定する。その中で、改善箇所を依頼し利便性を高め満足度の向上を図る。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	アプリ納入業者「株式会社カーリル」との打合せ		回	目標値	2	-	1		
				実績値	1	-	1		
	さばとマップのPR回数			目標値				3	3
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	アプリ「さばとマップ」の登録者数(新規)		人	目標値	100	60	100	-	
				実績値	179	141	-		
				達成率	179	235	-		
	計算 根拠			実数値					
	アンケートによる満足度調査(満足度率)		%	目標値				80	80
				実績値					
				達成率					
計算 根拠			実数値						
				ランク	A	A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由	アプリ作成業者がアプリ登録者数の収集を実施しなくなったため、確認できない。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	65	65	66	66	66		事業タイ	単独事業
	決算額	65	65	66	66	66		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	201	図書館管理運営費	85,556	66	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	66

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.09
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	現在、三谷コンピュータの開発したアプリ舗図バスも運用(令和元年12月開始)している。舗図バスの中には、さばとマップにつながるボタンがあるが、利用者には分かりにくいことから、より使いやすくなるような改善を検討する。
来年度へ向けて	R3年度の実績 R2年度は新型コロナの影響で、事業者が来館しての打合せができなかった。しかし、「さばサーチ」において書影がみれるように改善がなされ利便性が向上した。 R3年度は担当者同士がメールで打合せを行った。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度は新型コロナの影響で、事業者が来館しての打合せができなため、メールで連絡を取った。Zoom接続のテレビ会議等での打合せを設定する。アプリ「さばとマップ」の登録者数(新規)の統計が収集できなくなったため、R4年度はアンケートによる満足度調査を行い成果指標とする。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 引き続き、図書館の利便性向上を図るため、「さばとマップ」「さばサーチ」「舗図バス」の利用促進を行う。 R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	読書困難者支援事業
R3年度 事業名	読書困難者支援事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	文化の館		開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	これまでの障害者サービスで提供してきた資料は「点字(訳)図書」「録音(テープ・CD)図書」「大活字本」などであるが、障害特性に合わせた資料やサービス方法の開拓・活用が求められている。2016年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(通称:障害者差別解消法)」が施行し、図書館としても拡大読書器などを整備することで、視覚障害者などの読書困難者にもバリアなく読書を楽しんでもらうことを目指す。					
	概要	拡大文字・白黒反転などに対応した拡大読書器を設置。また「サビエ(視覚障害者総合情報ネットワークシステムの略称)」を利用することで点字・読み上げ図書データの提供を行っていく。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令等 根拠 現在	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 市直営	実施 形態	内容			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	啓発チラシの配布枚数(視覚障害者)	枚	目標値	100	100	100			
			実績値	100	0	0			
	読書困難者(視覚障がい者)支援事業のPR回数	回	目標値				3	3	
			実績値						
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	視覚障害者への視聴覚資料郵送回数	回	目標値	30	15	15			
			実績値	13	8	5			
	計算 根拠 1月あたり1.5回×12月		達成率	43.3	53.3	33.3			
			実数値						
	視覚障がい者への視聴覚資料郵送対応率	%	目標値				100	100	
			実績値						
	計算 根拠 対応した件数/依頼件数×100		達成率						
実数値									
			ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	視覚障がい者からの視聴覚資料郵送依頼が少なかったため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	会計	一般会計
	予算額	40	40	40	40	40	事業タイプ	単独事業
	決算額	40	40	40	40	40	経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	10	5	10	201	図書館管理運営費	85,556	40	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	40

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0.05
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒	維持
取組内容	従来から提供している点字図書、録音図書、大活字本に加え、拡大読書器利用やサビエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)を通じての図書利用サービスを昨年度同様の形態で実施し、読書困難者の読書支援を行っていく。	
来年度へ向けて	R3年度の実績	点字図書、録音図書、大活字本の充実に努めた。視聴覚資料郵送の利用者1名は故障していた機器を更新し、貸出依頼が再開した。拡大読書器の利用はある。当館を経由してのサビエ利用はなかった。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	点字図書、録音図書、大活字本の充実に努めている。視聴覚資料郵送の利用者1名は故障していた機器をR2年度に更新し、貸出依頼が再開した。拡大読書器の利用はある。当館を経由してのサビエ利用はなかった。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	点字図書、録音図書、大活字本の充実に努める。利用者の申し込みそうな資料の充実に努め、依頼に対応できるようにする。また、サビエ図書館の個人利用を押し進めるなど視覚障がい者のニーズに合わせたサービスを提供する。より多くの障がい者に周知されるようPRを強化する。
	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒